

2018 年度事業報告

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

I. 2018 年度事業活動の概要

① 授賞式

2018 年度（第 8 期）事業年度は、冒頭 4 月の授賞者発表に続き、5 月 15 日に第 6 回授賞式をフランス大使館公邸にて挙行し、授賞式前に記者会見を行いました。

② 論文募集告知活動

また財団活動紹介及び募集告知を更に強化し、募集案内を大学医学部 80 ヲ所、大学医学部呼吸器科等 514 ヲ所、がんセンター 20 ヲ所、がんセンター呼吸器他 115 ヲ所、がん拠点病院 326 ヲ所、疫学他 26 ヲ所の合計 1,081 ヲ所に送付しました。

③ 論文応募状況及び審査過程

7 月～9 月の募集期間を経て、10 月から一次選考、年明けから二次選考を行い、3 月下旬に第 7 回受賞者を決定しました。2018 年度の応募総数は 23 件と昨年の 19 件を上回りました。例年と異なり、公募開始直後の応募が多数見受けられました。

※参考（2012 年 16 篇、2013 年 8 篇、2014 年 18 篇、2015 年 25 篇、2016 年 16 篇、2017 年 19 篇）

④ 一般告知活動

財団の認知度向上及び事業の告知活動として、日本肺癌学会学術集会に対し、100 万円の助成を行い、フランスから肺癌を専門分野とする著名な研究者を招聘した講演会冒頭で、財団の事業活動の紹介を行いました（冠講演会：後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会記念講演会）。今後も財団の認知度の向上を図るとともに、より一層財団の公益性を伝えることにより癌撲滅へ向けての研究の発展に貢献していく予定です。

⑤ 豊島区及び関連団体との連携による癌撲滅、癌治療に関する啓蒙活動

2018 年度の新規事業として一

(1) 豊島区等との連携による公開講座の開催

豊島区内で地域包括ケアや地域保健福祉の自主勉強会を主宰している「あうるへるすの会」との共催（後援：豊島区、豊島区医師会他）により、喫煙に伴い発症するリスクの高い心筋梗塞時の AED を使った心肺蘇生法普及のための公開講座を実施いたしました。

(2) 兵庫県を中心に AED の普及・啓蒙活動を行っている団体への助成

喫煙による心筋梗塞のリスク増大に留まらず、様々な場面で心停止に陥った際の初期処置として有効な AED を使った心肺蘇生が広まりつつある中、「健

康スポーツ関連施設連絡協議会」が主催する「AEDを使用した心肺蘇生法普及 500人講習会（兵庫県播磨町）」の開催経費を補助いたしました。

- ⑥ エクスプロラシオン・フランス (Exploration France) 及びエクスプロラシオン・ジャパン (Exploration Japan) への助成
駐日フランス大使館が主催する日仏の自然科学分野研究者の渡仏・渡日プログラム（旅費援助）に対して、癌分野の日仏研究者の旅費の補助（日本人3名、フランス人2名）を行いました。

II. 第7回(2018年度)ポールブルダリ科学賞並びに同特別賞受賞者

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」（顕彰金 350万円）

秋葉 直志氏 Tadashi AKIBA, MD. Ph.D.

学校法人 慈恵大学 理事

東京慈恵会医科大学附属柏病院 病院長

東京慈恵会医科大学 大学院医学研究科 呼吸器外科教授

【該当論文】

ビタミンDサプリメントと非小細胞肺癌の患者生存率：ランダム化二重盲検プラセボ比較試験

「後藤喜代子・ポールブルダリ特別賞」（顕彰金 150万円）

平塚（中村）佐千枝氏 Sachie HIRATSUKA-NAKAMURA, MD., PhD.

信州大学 医学部 分子医化学 教授

【該当論文】

肝臓で教育された B220⁺CD11⁺NK1.1⁺細胞は、肺の転移前ニッチ（土壌）を制御する

III. 理事会・評議員会の開催状況

第30回理事会	2018年5月22日
第31回理事会	2018年6月21日（みなし決議にて）
第16回評議員会	2018年6月21日
第32回理事会	2018年8月20日
第17回評議員会	2018年8月30日
第33回理事会	2018年11月8日
第34回理事会	2019年3月28日

以上

平成30年度事業報告附属明細書

平成30年度事業報告の附属明細書は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会